

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情等の審査が12月6日、7日、8日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、災害に強いまちづくり特別委員会及び横田基地対策特別委員会が12月9日に行われました。ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

12月6日に委員会が開催され、議案2件と陳情2件の審査を行い、議案2件は原案のとおり可決、認定し、陳情は1件が採択、1件は不採択となりました。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 次世代モビリティ活用モデル事業費の内容は。

答 自転車駐車場のPR看板費で、一つは拝島駅北口自転車駐車場外壁に、また、福生駅東西階段踊り場上部に設置予定の案内看板の費用である。

問 中小企業振興資金貸付事業費243万4千円の内容は。



▲認定市道路線を視察

前年同期は57件、2億5

問 中小企業振興資金の前年同期との貸付状況について聞きたい。

答 平成23年11月末現在の申し込み状況は、99件、4億1370万1千円で、

315万円である。

◎市道路線の認定について

問 市道との比較で、私道の不都合は何か。

答 基本的に、通り抜けできる道路は所有者の寄附により市道となるが、行き止まりの道路は寄附を受け取らず、私道とすることにしている。私道は個人の所有であることから、維持管理も個人ですることに、市道は市で管理することになる。

また、今回の市道第334号線は行き止まりの道路だが、奥の緑地も併せての寄附であり、緑地を管理するための道路として、市道の認定をした。

◎地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出すること

意見 消費生活における苦情相談等の増大に伴う消費者保護の観点から、消費者行政の充実及び消費者相談員の待遇改善に向けた制度の整備が必要との意見があり、採決の結果、採択されました。

◎西多摩衛生組合への陳情書の適正な審査とフレシユランドの安全性確認を求める陳情書

意見 2名の委員より福生市議会が特別地方公共団体に意見を述べるのは好ましくないとの意見が

あり、採決の結果、不採択となりました。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 国民健康保険資格証の発行基準はどうなっているか。予算総額が大幅に増えるが、一般会計からの繰入金はどうなるか。

答 資格証は、現在短期証で、平成20年度3期以前に滞納があり、平成21年4月1日以降で2年間納付が全くない。平成23年度市民税未申告、または課税標準所得が145万円以上の世帯という全てが該当する方に発行する。

繰入金は、22年度の最終予算総額から7億1667万2千円増、補正予算後の予算総額で11・6%増となり、2億4548万3千円増となる。

市民厚生委員会

12月7日に委員会が開催され、議案4件と陳情2件を審査しました。主な内容は次の通りです。

◎福生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

問 「兄弟姉妹で生計を同じくしていた」というのはどういうことか。生計維持者と、非生計維持者の違いはどうなるのか。

答 兄弟姉妹で、生計を同じくしていなくても同居さえしていれば、支給要件を備えている。生計維持者は500万円が支給され、非生計維持者は250万円が支給される。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)

問 家庭児童相談システム導入の効果は。

答 子ども手当支給システム改良の内容はどういうものか。

答 子ども家庭支援センターの相談内容管理、ケース記録等を入力し、都府県等に報告する作業を簡素化、訪問等相談業務の充実を図る。子ども手当支給システム改良は、24年の6月以降所得制限対応とす

るため、新しい基幹システムへ移行する。

◎福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

問 児童館、学童の指定管理延長に当たっての審査の経緯と、今後の新規事業計画は。

事業計画は、この補正でのかなりの世帯になるのか。

答 平成21年度当初、3カ年で全世帯の5%、約1320世帯を目標としていたが、補正予算承認後は全世帯の9・5%、約2800世帯ぐらいまでいくと考えている。

総務文教委員会

12月8日に委員会が開催され、議案2件と陳情2件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市都市計画条例の一部を改正する条例

問 都市計画税の充当率の考え方は。

答 制限税率(0・3%)以内の税率は、国や東京都から示されているわけではないが都市計画事業の状況、財政状況により各自自治体の裁量に任されている。

問 新規の事業のほか、街路や公園、下水道などのメンテナンスなどに使うこともあるのか。

答 メンテナンスも充当先として考えている。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 家具転倒防止器具助成金の増額について

答 大震災後の考え方で、財政調整基金は緊急時、市民の安全安心を確保するためにある程度額が必要。市の借金も、毎

年全体で5億円ほど減っている状況。金利負担の少ない時期もあるので臨時財政対策債を増額した。

問 消防団員の共済負担金が大きく増えているが。

答 東日本大震災による消防団員の死者、行方不明者のほとんどが公務中であり、平成23年度に限り公務災害補償の確実な実施を確保することによ



▲家具転倒防止器具

る掛け金の増額。

◎米軍普天飛行場移設に関する日米共同発表の見直しを求める意見書を日本政府に提出することを求める陳情書

意見 この問題は安全保障にかかわる重要な事項であり、防衛と外交は国の基本である。国と国との約束である日米合意を尊重し不採択とされたい。

意見 この陳情は基地のない沖縄をつくりたいという願いであり、福生に住む人間として基地のない福生を早く実現したいという思いで共通している。日米共同発表の見直しを求める意見書なので採択されたい。

以上の意見が出され、採決の結果、不採択となりました。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

